

小学部			中学部			
分類	第1段階	第2段階	第3段階	分類	第1段階	第2段階
測定	<p>量の大きさについての基礎的な概念を養い、大きい・小さい、多い・少ないなどの違いに体験的に気付くことができるよう、量の大きさを区別することについて指導する。</p>	<p>大きい・小さい、多い・少ないと表現していた量の大きさについて、長さ、重さ、高さ、広さといった属性に注目して二つの量の大きさを比べることについて指導する。</p>	<p>属性に着目した二つの量の大きさの比べ方と、時刻の読み方や時間の単位について指導する。</p>		<p>長さやかさ、重さの単位と測り方及び時間の単位と時刻や時間の求め方について指導する。</p>	<p>「変化と関係」表や式の表し方と数量関係の比べ方について指導する。</p>
	 <p>円柱差し 円柱の大きさに合わせて入れる。 ★大きさの違いを区別する。</p>	 <p>長さ比べ 極端に長さの違う2つの物を比べる。 ★二つの長さを比べ、長い・短い用語を用いて表現する。</p>	 <p>時刻合わせ 口頭や文字で伝えられた時刻に合わせる。 ★時と分が分かる。</p>			
	 <p>分けてみよう〜カードの大小〜 「大きい」「小さい」を言いながらイラストを分け入れる。 ★大きい・小さいを判断して、区別する。 ★大きい・小さいの用語を用いて表現する。</p>	 <p>重さ比べ 天秤に比べる2つの物をそれぞれに入れて、重さを比べる。 ★二つの重さを比べて、重い・軽いの用語を用いて表現する。</p>	 <p>時刻と日常生活の関係 時刻と生活を結びつけて考える。 ★時間の単位が分かる。</p>			
		 <p>長さ比べ 長さを直接比べる方法について理解し、比較する。 ★端を揃えて長さを比べる。</p>				

今後更新していきます。

小学部			中学部			
分類	第1段階	第2段階	第3段階	分類	第1段階	第2段階
データの活用		<p>身近なものを形、色、大きさなどの属性に加え、用途や目的に着目して分類したものを、一対一の対応によって数の同等や多少の判断をしたり、簡単な絵や記号などを用いた表やグラフで表したりすることについて指導する。</p>  <p>①</p> <p>マトリックス 色と形に対応させて表を完成させる。 ★身近なものの色や形、大きさについて、共通点や相違点を考え分類する。</p>	<p>幾つかの種類のを数える場面において、絵や図を利用して表し、数を数えたり、比較したりすること、データ数を記号で表し、数を数えたり、比較したりすることにより、同等や多少を読み取ったり、判断したりすることについて指導する。</p>  <p>②</p> <p>表に整理しよう 果物の数を○で表し、表に整理する。 ★ものともとの対応やものの個数について、簡単な絵や図に表して整理したり、それらを読んだりする。</p>			
					データの活用	<p>具体的な活動を通して、身の回りにおける数量を分類整理し、それを簡単な表やグラフを用いて表したり、表やグラフから数が最も多い、少ないなどの特徴を読み取ったりすることについて指導する。</p>  <p>③</p> <p>じゃんけん 結果 ゲーム結果を○×で表し、○の数を数え順位を決める。 ★簡単な表やグラフで表したり、読み取ったりする。</p>  <p>④</p> <p>重さをはかろう デジタルばかりを使って重さを量り、表やグラフに表す。 ★身の回りにおける数量を簡単な表やグラフに表す。</p>